

云巡姿水流ニ似タルガ故ニ、若シ是ヲ云歟、

〔藏玉和歌集〕あじろ玉車 里舟車

〔倭訓栞中編一〕あじろたま 車也といへり、網代給の義にや、

〔和玉篇中〕車シヤキクルマ

〔下學集下〕大車タイキヤ 小車シヤキ 異也、見論語也、

〔秉燭譚三〕大車小車ノ事

論語ノ大車小車ヲ大キヨ、小シヤトヨミ來レリ、韻會ヲ考ルニ、車ニ兩音アレドモ、大小ニ因テ

カハルコトハナシ、顏氏家訓ヲ按ズレバ、古ハ車ノ字ヲ唱遮ノ反ニ呼ブ、漢已來乃居ト云、俗語

ニハ則唱遮反ト云々、琅邪代醉編ニ、張鼎思ガ考ニハ、詩ノ北風篇ニ、莫赤匪狐ト云々、携手同車

ト、則 音モト居ノ音アリト云々、シガレバシヤトキヨトハ、古今ノ異音ニテ、今日ハ通ジテ唱

遮ノ反ニ呼ガ宜シキナリ、大車小車、モトヨリワケテヨムベキニアラズ、

〔延喜式四十八〕五月五日節式

右當日早朝鞍簡定馬授二府、騎射官人、率舍人到來裝束、居駕幸武德殿、

○按ズルニ、居駕ハ車駕ノ假借ニシテ、車ノ字ニ居ノ音アルヲ以テナリ、

〔令義解六〕車儀駕行幸

〔令集解二十八〕車儀駕稱謂乘興行幸之時名、謂之車駕也、

〔貴嶺問答〕令候内裏給之由承畢、於御門閉之、還御之時、又可開歟、宮衛令曰、車儀駕行幸、即閉諸門、隨

便開理門、

〔夫木和歌抄三十三〕百首歌

山がつのあふさかこゆるをぐるまに心やりたるあかつきのころ

寂蓮法師